

「指導と評価の一体化」による学習評価の充実・推進事業

リーディング・スクール 実践報告

岐阜市立加納中学校

1 重点として取り組む内容について

主として取り組む内容

- ② 「主体的に学習に取り組む態度」の
妥当性・信頼性のある評価の在り方

併せて取り組むメニュー

- ① 自己調整力や自己評価力の育成につながる学習評価の在り方
- ④ 評価活動（各種テスト、レポート等）の工夫による適切な学習
評価の在り方

2 実践にあたって

昨年度の成果と課題

- 評価の **見取りと手立て** の明確化
- 生徒の **学びの実感** を高める手立て

- △ 評価の妥当性、信頼性、持続性
- △ 自己調整力を高める授業展開

単元の課題/目指す姿
リズムに乗って全身で自由に踊るダンスを楽しむ

取組の視点
個人課題
仲間と認め合い一人一人が活躍できるグループ

動画
練習方法選択の視点
・自分が苦手な部分ってどこ？
・大切な技術ポイントは何？

自己評価
今日の振り返り
達成度 70 %

振り返りの視点
・自分がやってみて感じたこと
・自分自身や仲間の動きをみて感じたこと
・支えるチーム内での自分の役割を
通して感じたこと
・知る新しい知識を得ることができたこと

次時への見通し
次回の見通し(次回にやりたいこと=次回の課題)
体幹部を使うことをプラスしてやる

まとめ/振り返り
本時の目標/練習方法
まとめ/振り返り

その他
・写真(記録)
・前時との変化
・他の単元とのつながり 等

資料

学習シートで、「見通し-活動(経過)-振り返り」による生徒の **思考の可視化、共有化** を図った

3 今年度の実践について 訪問 I

0523 訪問 I 公開授業

3年生 数学科

「多項式 文字式を使って説明しよう」

第19時 教科書P.36～P.37

- 単元構成を生徒と共有する「**学習シート**」の活用
- **自己課題を設定** して取り組む活動の位置付け

3 今年度の実践について 訪問 |

「学習シート」の活用

単元末に目指す姿

単元で身に付ける力

単元や節の振り返り

3年生 1章「多項式 一文字式を使って説明しよう」
単元を貫く課題 数や図形の性質を文字式を使って説明するときに、大切なことは何だろう。

単元の学習後の「ゴール」

- ① 単元を貫く課題に対する自分の考えをまとめることができる。
- ② 学んだことを、他教科や総合的な学習、これからの生活に生かす見通しをもつことができる。

単元の「ねらい」

【知識及び技能】

- 単項式と多項式の乗法・除法の計算をする技能。
- 公式を使って、多項式と多項式の乗法の計算をする技能。
- 因数分解の意味と方法の理解。
- 公式を使って、因数分解をする技能。

【思考力、判断力、表現力等】

- これまでに学習した展開の方法と関連付けて、複雑な式の展開をする力。
- これまでに学習した因数分解の方法と関連付けて、複雑な式の因数分解をする力。
- 展開や因数分解を使って、数の計算の結果や式の値を工夫して求める力。
- 文字を用いた式で数や数量の関係を捉え、説明する力。

【学びに向かう力、人間性等】

- これまでに学んだことを活用して、計算の方法や公式の使い方を粘り強く考えている姿。
- 問題解決の過程を、「根拠」「解釈」「統合」「発展」の視点で振り返っている姿。

導入 1時間

【単元を貫く課題に対する考え】

何を文字で表すのが大事だと思った。今までで習った分配法則とかが使えるとわかった。

終末 1時間

【①について】

文字式を使って説明するときは展開だったら式を見てどの公式が使えるか考え、今まで習ったことかとも使いながら簡単に計算していくことが大切だと思った。因数分解の時はその答えはどんな公式だったらそれになるか考え、展開する時の逆と覚えて計算していくことが大切だと思った。共通因数が数字か文字かを見つけてその数字が二乗になっていないかを見つけることが大切だとおもった。証明をするときは最後の計算の時に自分が説明したいことできるように式を変形していくことが大切だと思った。

【②について】

展開とか因数分解を他の生活で活かしていける部分は少ないと思うけど、計算をいかに簡単にしていけるかという考え方は他の場面でも活かせると思うのでそこをこれからの生活に活かしていきたい。例えば今技術の学習でやっているプログラミングのときで難しい組み合わせにするのではなく、いかに簡単にみんなも利用しやすいものを作れるようにしたり、英語では自分の思いを英語で伝える時に自分がわかる簡単な英語で話し、伝わるようにしていくと活かしていきたい。

1節 多項式の計算 7時間

【学んだこと・考えたことメモ】

$$(x+a)(x+b) = x^2 + (a+b)x + ab$$
$$(x+a)^2 = x^2 + 2ax + a^2$$
$$(x-a)^2 = x^2 - 2ax + a^2$$
$$(x+a)(x-a) = x^2 - a^2$$

【振り返り】

公式0を覚えれば展開できるけど、公式1~4を使えばもっと簡単に展開をすることができるとわかりました。文字式を使うときは今までで習った分配法則とかを使いながらもいかに簡単に計算していくかが大事だと思いました。

2節 因数分解 6時間

【学んだこと・考えたことメモ】

1節で習った公式の逆
共通因数を見つける
符号に注意

【振り返り】

なんの公式が使えるかを考えて解くとわかった。共通因数を見つけたら、何の2乗なのかを見つけて計算することが大切だとわかった。式によっては符号を変えないといけないものもあるから符号の変化にも気をつけて計算していくことが大切だとわかった。

3節 式の計算の利用 4時間

【学んだこと・考えたことメモ】

【振り返り】

説明する問題では計算の最後で何を説明したいかによって式を変形することが大切だとわかった。計算の時はどの公式が使えるかを考えて公式に当てはめて計算することが大切だとわかった。

4 今年度の実践について 訪問II

1003 訪問II 公開授業

3年生 英語

「Unit4 How can we help each other in a disaster」

第8時

3年生 社会

「人権と共生社会」

第13時

3年生 技術・家庭

「計測制御システムを開発しよう！」

第17時

3年生 保健体育

「G ダンス【創作ダンス】」

第3時

- 評価の **妥当性、信頼性** を高める工夫
- **自己調整力** を高める授業展開

4 今年度の実践について 訪問II

評価の妥当性、信頼性を高める工夫

	評価場面	評価方法
導入	・ 班交流	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人追究 ・ グループ練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 机間指導 ・ 前時との比較
終末	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習シートの振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りの記述 ・ プレゼン ・ 録画

見方・考え方、自己調整の視点で評価

技術・家庭

9月 22日 (月) 足あと

センサーを利用してプログラムを作れるようにしたいと思った
 例えば、■さんが言ったように身近にあるものから着想を得て少し手を加えて新しいものを作り出すことや、■さんが言った環境に配慮するけどストレスを減らす工夫が施されていてよかった
 このような環境と人間への利益の両立を目指すことがより良い利便性のあるプログラムにつながると感じた
 次回はこの二つを上手く両立するためにプログラムをたくさん作り出すいろいろな人に意見を聞いて改善できるようにしたい

英語

評価の観点
／具体的な
生徒の姿

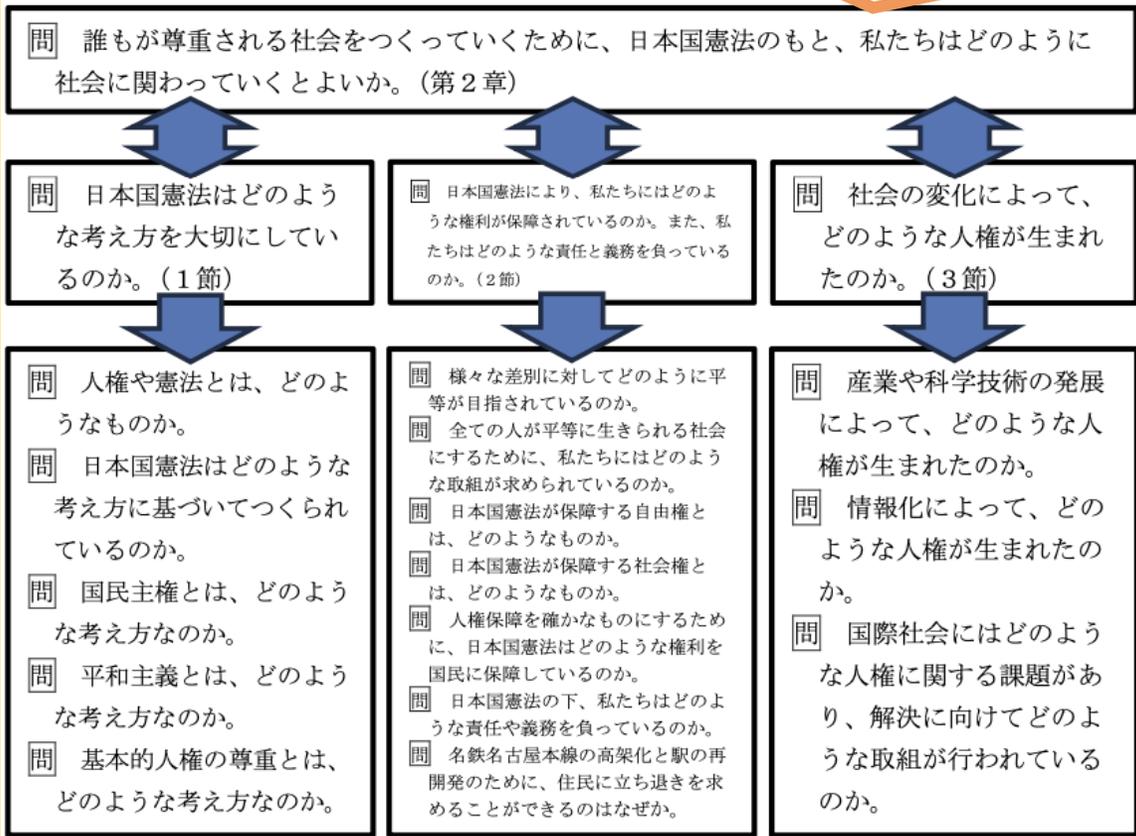
主体的に伝えようとする姿	主体的に聞こうとする姿
① 自分の立場やその理由を伝える姿 (I agree/disagree with ~ because....など)	① 聞き取れなかったことをそのままにせず、粘り強くたずねる姿 (Pardon? / What does it mean? など)
② 相手の意見に理解を示している姿 (I see your point, / I see what you mean, ... / That's a good point,など)	② 自分の考えと比較して、相手の意見を確かめながら聞こうとする姿 (You mean..., right? / It means ..., right? など)
③ 同意できる部分やそうでない部分を伝える姿 (You said, "...", I think that is a good point. / I see what you mean, but....など)	③ 相手の考えや意見を引き出そうとする姿 (Tell me more. / Why do you think so? など)

4 今年度の実践について 訪問II

自己調整力を高める授業展開

社会

単元全体の問いの構造化



自己調整を促す学習シート

保健体育

3年生『創作ダンス』

感じを込めて踊ったり、イメージを自由に表現したりして、楽しんで踊る姿

仲間との表現を認め合い、高め合いながら、一人一人が活躍できる集団

動きのポイント

- 動きを積極的に(積極性)
- メリハリ(緩急・強弱)
- 対極(面を変える/対の動き)
- 空間(広がりや閉まり)
- 応用した動き(連続/対応/ずらし)
- みんなと同じ動き/バラバラ

オリエンテーション

＜目標＞ 自分や仲間と対極の動きを表現する

＜単元の見通し＞

- ・ 目標達成に向けて、どんな知識・技能を身に付けたいのか?
- ・ 単元を通して、自分はいつ、どんな時に、どんなことに、どうやって取り組もう?
- ・ 仲間と活動するうえで、どんなかわり方が大切かな?

授業の流れ

- ①準備体操・W-up
- ②あいさつ
- ③今日の見通し
- ④グループ会
- ⑤練習
- ⑥グループ会
- ⑦全体会

自分や仲間のつまずき

- ・ 恥ずかしい
- ・ 同じ動きばかり
- ・ 動きが小さい
- ・ 即興的に動けない
- ・ 仲間の動きが真似できない
- ・ 動きが硬い
- ・ どうしていいかわからない

仲間とのわり方のポイント

- 【する】ここで開く
- ・ 仲間の動きを真似(コピー)
- ・ 仲間の動きの面を覚えてみる
- ・ 仲間の動きに対して動いて
- ・ 積極に、大気にならな
- 【みる】ここで開く
- ・ 得意な仲間を観察する
- ・ <上達のポイント>の動きを模倣
- ・ 撮影し自分の動きを見てみる
- ・ 仲間の動きを見てもらう

単元後半

ひとまわりの作品を見せ合う発表会を全員で楽しむ

発表会

創作ダンスの単元を振り返って

A・B・C A・B・C A・B・C

個人課題

練習内容

B:対極の動きの連続<対極の動き>

- ・ 相手の動きをあべこべに
- ・ ストップ&ゴーで極端に動く

練習方法

- 【アポイント】動きを真似する
- 【対極】対極の動きを真似する
- 【グループや仲間の動き】得意な仲間と一緒に踊る
- 【対極】得意な仲間と一緒に踊る
- 【対極】得意な仲間と一緒に踊る
- 【対極】得意な仲間と一緒に踊る

本時の気付きメモ

【する】自分がやってみて

【みる】仲間や先生(手本)を見てみて

【伝える】仲間と教えあったりアドバイスしたりして

振り返り

達成度 %

振り返り

次回の見通し(次回にやりたいこと=次回の課題)

5 今年度の実践について まとめ

今年度の成果と課題

- 「主体的に学習に取り組む態度」を **具体的な生徒の姿** で考え、評価の **見取りと手立て** を明確化して取り組んだ。
- 単元（題材）を **見通し** たり、**振り返りの視点** や、**学びを言語化** することで自らの学びを実感できるようにした。
- 評価の妥当性，信頼性，**持続性** をさらに高めていく必要がある。「主体的に学習に取り組む態度」は，**授業中の姿から評価** したい。
- 必然性をもって学び、自己調整することのできる単元設計。

5 今年度の実践について まとめ

今後の取組

「ねらいー見通しーゴール」を念頭に置いた、
各教科の特性に応じたカリキュラムデザイン

- **必然性をもって学び、自己調整する** 授業展開
- 妥当性、信頼性、**持続性のある** 評価方法の確立